

11月5回（11月26日～12月2日）商品検査実績

●微生物検査 220 検体

検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 69 検体

食品添加物検査	30 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
残留農薬検査	外部検査機関に 12 検体依頼しました。検査の結果問題ありませんでした。	
簡易農薬検査	10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
P C R 検査	畜種判別検査	今週は実施しておりません。
	GMO検査	今週は実施しておりません。
	米のDNA異種米判定	今週は実施しておりません。
	コシヒカリ品種判定	今週は実施しておりません。
米鮮度判定	今週は実施しておりません。	
卵鮮度判定	今週は実施しておりません。	
アレルゲン検査	今週は実施しておりません。	
ヒスタミン検査	5 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。	
アフラトキシン(カビ毒)	今週は実施しておりません。	
クドア（養殖ヒラメ寄生虫）	今週は実施しておりません。	
放射性物質検査（スペクトロメータ※①）	12 検体（野菜 1 検体、果物 4 検体、水産 3 検体、加工食品 4 検体）実施しました。全て検出下限値（約 20Bq/kg）以下となりました。	
放射性物質検査（サーベイメータ※②）	今週は実施しておりません。	

- ・ヒスタミン検査＝ヒスタミンによる食中毒は、アレルギー様食中毒の一つであり、鮮度の低下したマグロやカツオ、サバなどの赤身魚やその加工品が原因となることが多いため、検査でヒスタミンの濃度を測定します。
- ・アフラトキシン＝アスペルギルス属の一部のカビが産生するカビ毒で肝臓がんの原因の一つと考えられています。アフラトキシンが作られる最適条件は、温度 30℃前後、湿度 95%以上であるため、高温多湿の熱帯地方等が最も適しています。輸入食品の安全性に関わるため、日本では、輸入時に行う抜き取りのカビ毒検査やカビそのものが生育していないか外見上の検査を実施しています。なお、日本国内で、食品にアフラトキシン汚染が起きる可能性は低いものと考えられています。

※①NaI シンチレーションスペクトロメータ：^{しゃへいたい}遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

※②NaI シンチレーションサーベイメータ：^{しゃへいたい}遮蔽体無しの持ち運びできる機器：ガンマ線総量を測定

※③kcps（キロ・カウント・パー・セカンド）：1秒間に対象となるものから何回放射性物質が放出されているか測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド（放射線測定の際の測定対象以外からの放射線で宇宙線や天然の放射性物質に起因する）との差異を3以内としました。

組合員さんの

想いにこたえて

みなさんから寄せられた声を商品・運用にいかす取り組みをしています。



組合員さん VOICE

チューブタイプのピザソースは1回で使い切ることが難しく、日にちが空いてしまうと、古い気がして使えなくなってしまいます。最近では少ない家族構成の方も多くなっていると思いますので、個包装タイプのピザソースを案内してほしい。

実現しました

商品のリクエストをいただきありがとうございます。ご要望いただきました商品について検討した結果、個包装タイプのピザソースとして、「ピザトーストソース(25g×6)」を、新しく案内できることになりました。この商品は25gの個包装ですので、使い切りとしてとても便利で、ピザトーストはもちろん、本格的なピザもおいしさがアップします。この機会にぜひご利用をお願いいたします。

商品のリクエストをいただきありがとうございます。ご要望いただきました商品について検討した結果、個包装タイプのピザソースとして、「ピザトーストソース(25g×6)」を、新しく案内できることになりました。この商品は25gの個包装ですので、使い切りとしてとても便利で、ピザトーストはもちろん、本格的なピザもおいしさがアップします。この機会にぜひご利用をお願いいたします。



今月のお知らせ

取引先研修会

今年度の実施内容

10月17日(火)に奈良県橿原文化会館で開催し、お取引先75社から



106名と、ならコープの理事、職員28名を含めた134名の参加がありました。

研修会では前年に続き、アース環境サービス(株)市原睦規氏から「食の安心・安全をめぐる食品メーカーの課題(2)～商品苦情のお申し出内容からの見直しポイント～」について講演いただき、学習を深めました。また、お取引先2社((株)ヒロツク(株)牛信)から自社での安心・安全の取り組み事例の報告をいただき共有しました。今後もいっそうの協力・協同の関係を目指してまいります。



商品検査レポート 10月に実施した商品検査の結果をご案内します。

毎月の検査結果はHPにも記載しています。▶<http://www.naracoop.or.jp/goods/letter/kensadayori.html>

微生物検査	検査数	●店舗新規商品において、「水産1商品」が一般生菌数、「水産1商品」が一般生菌数及び大腸菌群にて自主基準不適合となったことから工程管理を見直して再検査をおこないましたが同様の結果となり取扱いをしないこととなりました。その他、店舗新規商品において、「水産1商品」が一般生菌数及び大腸菌群にて自主基準不適合となったことから取扱いをしないこととなりました。								
	1,052									
理化学検査	検査数	主な検査項目	食品添加物	簡易農薬	畜種判定	残留農薬 (外部検査機関へ依頼)	精米品種判定 (外部検査機関へ依頼)	カビ毒	検査の結果、いずれも問題ありませんでした。	
	436		126	50	6	17	2	4		
放射性物質検査 (NaIシンチレーション スペクトロメータ※①)	検査数	米	野菜	果物	牛乳	鶏卵	水産	冷蔵日記	飲料	検査の結果、全て検出下限値(20Bq/kg)以下でした。
	78	8	25	26	9	4	3	2	1	
放射性物質検査 (NaIシンチレーション サーベイメータ※②)	検査数	野菜	果物	きのこ	検査の結果、全てバックグラウンドとの差異が※③3kcps(キロ・カウント・パー・セカンド)以内となりました。					
	15	6	5	4						

※①NaI(エヌイーアイ)シンチレーションスペクトロメータ:遮蔽体(しゃへい)付検出器で核種を特定できるもの:ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定

※②NaIシンチレーションサーベイメータ:遮蔽体無しの持ち運びできる機器:ガンマ線総量を測定

※③kcps(キロ・カウント・パー・セカンド):1秒間に対象となるものから何

回放射性物質が放出されているが測定するものです。奈良県行政と同様にバックグラウンド(放射線測定の際の測定対象以外からの放射線や宇宙線や天然の放射性物質に起因する)との差異を3以内としました。NaIシンチレーションサーベイメータではガンマ線総量を測定し、検出が疑われる場合は、NaIシンチレーションスペクトロメータで確認検査を行うこととしています。

